

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 251

2016年

7～8月号

行 事 案 内

7月手賀沼探鳥会

期 日 7月10日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前8時
案 内 選挙投票日のため、クレオ側駐車場
サマータイムで行われます。第2
機場駐車場のオープン時間が遅い
ため、ヒドリ橋⇒第2機場と逆コ
ースで歩きます。夏真っ盛りの中
でオオヨシキリが大きな声で鳴き、赤
い口を見せってくれるでしょう。オ
オバンやカイツブリの幼鳥が姿を
現すかも知れません。浅間橋のヨシ
ゴイにも期待です。暑さ対策も忘れ
ずに。
解 散 午前11時頃
担 当 桑森

7月、8月手賀沼定点カウント

期 日 7月2日(土) 雨天延期
8月8日(月) 雨天延期
集 合 我孫子市役所 午前9時
解 散 正午予定
担 当 金子雅幸、船津登、桑森亮
連絡先 桑森亮
Tel : 04-7182-3149
E-mail : r-kuwamori@jcom.zaq.ne.jp

8月手賀沼探鳥会

期 日 8月14日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前8時
案 内 サマータイムで行われます。第2
機場駐車場のオープン時間が遅い
ため、ヒドリ橋⇒第2機場→道の
駅⇒お立ち台の順序で移動します。
オオヨシキリの声がしなくなり、鳥
も参加者も少ない時期ですが、出会
いに期待しましょう。下見の結果次
第で、ヨシゴイの浅間橋へも。暑さ
対策をお忘れなく。
解 散 午前11時頃
担 当 松田

7月、8月ビオトープ調査

期 日 7月7日(木) 雨天延期
8月4日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ビオトープ 午前8時30分
(7、8月は通常より1時間早くスター
トします)
案 内 7-8月はビオトープ、沼岸が葦等の
抽水植物、蔓性植物に覆われるため
中にある鳥は見えにくくなります。
葦の中のオオヨシキリの囀りを、池、
田、沼岸、上空を飛ぶツバメ、セッ
カ等の鳥をじっくり観察してみま
しょう。7月には木の花、草の花が
多く咲き、ギンイチモンジセセリ、

コムラサキ等、多種の蝶が飛び、8月にはトンボが飛び、蝉が鳴きます。その他の虫も多く観察出来ます。暑さ対策した上で、夏の探鳥をしてみましょう。8月は夏休み中ですので、小学生の参加も歓迎します。昨年7月は14種、8月は14種の野鳥を観察しました。参加希望の方は下記までご連絡下さい。

解 散 午前11時30分
担 当 鈴木静治
Tel : 080-3121-4757

乗鞍・上高地 探鳥会

7月3日(日)、4日(月) 実施予定の本行事は、定員に達しましたので、既に締め切られました。

三番瀬 探鳥会

期 日 9月4日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅改札口 8:10 又は
ふなばし三番瀬海浜公園バス停 9:50
交 通 我孫子駅(代々木上原行き) 8:19
発~柏駅 8:24 着、
東武線柏駅(船橋行き) 8:31 発~東
武線船橋駅 9:01 着、
徒歩で京成船橋駅南口前3番バス
停へ
船橋海浜公園行きバス 9:20 発~終
点下車 9:40 着
案 内 今回は初めての試みで千葉県野鳥
の会との交流探鳥会です。
三番瀬は日本一のミヤコドリ渡来
地です。秋の渡りの時期でオオソリ
ハシシギ、チュウシャクシギ、メダ
イチドリなど多くのシギ、チドリ類
が観察できます。コアジサシ、アジ
サシも期待できます。
持 物 観察用具、弁当、飲み物、ぬれても
よい靴(長靴)、雨具
申 込 野口隆也まで(集合場所と携帯電話

番号をお知らせ下さい)

Tel : 04-7163-7898

担 当 相良、野口(隆)

映 写 会 及 び 懇 親 会

本年度も下記の如く、当会恒例の映写会と懇親会を開催します。

会員より応募いただいた写真、動画、スライド・ショー等の素晴らしい作品の数々を皆様とご一緒に楽しみ、引き続き場所を変え食事をしながら映写会の批評や探鳥会の思い出話など語りながら親睦を深めたいと思います。皆様奮ってご参加ください。

<映写会>

日 時 7月24日(日) 9:00-12:00
場 所 我孫子駅南口 けやきプラザ 7F
介護実習室

Tel : 04-7165-2886 (場所が昨年と変わっております。)

内 容 会員の写真、動画やスライド・ショーなどの作品を映写して楽しみます。鑑賞のみの参加も大歓迎です。鑑賞のみの方も必ず事前に申込みください

<懇親会>

日 時 7月24日(日) 12:30~14:30
会 費 2,100円
場 所 海鮮和彩 はなぜん 我孫子北口
駅前店 電話 04-7179-0010

申込/問合せ先 相良直己 7月19日まで
Tel : 04-7191-3108

E-mail :

ab-yacho-office@abikoyacho.sakura.ne.jp

* 映写会のみ懇親会のみ希望の方はその旨を明記ください。

担 当 映写会 相良、石渡
懇親会 小林(寿)、野口(紀)、
石井、古出

第19回 野鳥サロン

第19回目の野鳥サロンを、下記の日程&場所にて開催致します。

- テーマ ①キジの学名について (間野)
②ヒマラヤを超えて渡る鳥の謎
(田中)
③「家で飼う鳥 家禽」の由来
(鈴木)

日時 7月26日(火) 9:30~11:30

場所 我孫子北近隣センター
つくし野館 第3会議室
<我孫子ビレッジ1号館
ショッピングセンター2F>
注)ビレッジ内には駐車場がありません。

会費 一人300円(茶菓代)

申込 金子雅幸まで

Tel: 04-7133-6944

担当 間野、田中、鈴木、金子

申込 不要
担当 木村、桑森

ています。ヘイケボタルもここ数年は3桁の数がカウントされ、安定して観察できるようになっており、昨年は142頭が記録されています。今年も幻想的な光が私たちを迎えてくれることでしょう。この谷津は我孫子でも数少ない貴重なホタル棲息地で、自然環境学習の場でもあります。是非、子供たちも誘ってお集まりください。

7月役員会案内

日時 7月10日(日) 13:00~16:00

(開始時間にご注意願います)

場所 並木近隣センター本館
第3会議室

- 議題 ①JBF2016 出展について
②あびこ市民活動メッセ出展について
③会報252号掲載予定記事について
④28年度第1四半期会計報告
⑤第20回野鳥サロンについて
⑥報告事項
・新入会員オリエンテーション開催(6/25)
・対外活動状況 他
⑦その他(議題のある場合は桑森までご連絡ください。)

ホタルの夕べ

期日 8月7日(日) 雨天中止

集合 東我孫子駅前 午後7時

持参 懐中電灯、虫除け対策

解散 午後8時を目安に、東我孫子駅前解散

案内 毎年恒例の岡発戸谷津でのホタル鑑賞会です。岡発戸・都部谷津は関係者の努力のお蔭で整備が進み、水辺や湿田の生物が着実に増えてき

行事報告

4月手賀沼探鳥会

調査日時 2016.4.10 9:00~11:45

曇り 微風 21℃

盛りは少し過ぎたもののまだいたるとこ

ろで桜が咲いています。歩き始めるとともに気温が上がり着ているものを脱ぐ人が出てくる陽気です。手賀沼のカモ類の数はめっきり減ったものの、冬の名残のオカヨシガモ、ヒドリガモ、コガモ、ホシハジロなどが確認できました。この時期固有の目先が青緑色に

なったダイサギ、頭が黒くなったユリカモメなどが見られたほか、ウグイス、ホオジロ、ヒバリの囀りが聞かれ夏の到来を感じさせてくれました。この時期は冬鳥と夏鳥が交錯して多く（40種）の鳥を見ることができました。なお、散会直後、市役所駐車場でメジロのさえずりを多くの方が確認しましたので、実質は41種とも言えます。

＜認めた鳥＞ キジ、コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、トビ、オオタカ、カワセミ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、セッカ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計40種 番外 カワラバト

＜参加者＞ 桑森亮、大久保陸夫、西城猛、野口隆也、佐藤貴子、村松寿夫、間野吉幸、畠中暁美、古出洋子、船津登、染谷迪夫、北原建郎、森本宜久、松本勝英、川村美恵子、天野睦子、類地佑子、小川克子、玉井修一郎、鈴木静治、田丸喜昭、石井俊子、野倉元雄、金子孝子、徳重玲子、宮下三禮、小林博之、常盤孝義、松田幸保、小玉文夫、渡辺俊文、百瀬喬、野口紀子、木村稔、相良直己、佐藤さえ子（担当）小澤淳宏 計37名

4月手賀沼定点カウント

調査日時 2016.4.2 9:00～12:15

曇り 北風やや強し 10℃

手賀沼の水量が非常に多く、どのポイントでも干潟が全く出ない状態だった。（北千葉導水所によれば、9月まではこの水位を維持するとのこと。）

風があり寒かった為か、先月見られたマガモが見られず代わりにヒドリガモが多く観察出来た。また、セグロカモメも数が増えていた。但し、総数では3月とほとんど変わりがなし。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	20	10	30
オカヨシガモ	13	0	13
ヒドリガモ	0	136	136
マガモ	0	1	1
カルガモ	39	7	46
コガモ	92	19	111
ホシハジロ	0	5	5
カイツブリ	8	12	20
カンムリカイツブリ	10	13	23
カワウ	25	76	101
アオサギ	15	3	18
ダイサギ	3	1	4
コサギ	3	4	7
バン	4	0	4
オオバン	27	23	50
ユリカモメ	0	56	56
セグロカモメ	7	21	28
合計	266	387	653

＜調査者＞ 桑森亮、船津登、金子雅幸

4月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2016.4.9 9:30～11:50

晴れ やや強い風 22～23℃

沼岸、斜面林、五本松公園の桜が満開でやや散り始める。斜面林の新芽(白、淡赤、若草色等)の緑、常緑樹、竹の緑、農家の庭、畑の花桃、菜の花等が調和して綺麗。風が強くと、カモ類の多くが去っているため、沼の鳥は少ない。沼岸近くにオオバン、バン、カイツブリが、カワウは水面近くを飛び、上空をセグロカモメが飛ぶ。水田は殆ど田起こし済みで、ビオトープ近くでコブハクチョウ、ツグミ、ホオジロ、モズ等が見られた。ビオトープ生息ゾーンは葦原にアオジ、ホオジロの地鳴きが聞こえ、池にはコガモ、オオバン、カルガモが泳ぎ、ダイサギ、コサギが中島で休み、コブハクチョウが巣で抱卵中。観察ゾーン、手作りゾーン、葦等の抽水植物に覆われる。ここではヒヨドリ、ムクドリ、モズ、キジ等が観察出来ました。観察した野鳥22種77羽、他に木の花4種、花穂3種、新芽、葉5種、草の花22種、花

穂2種、新芽5種、蛙2種、蝶5種、蜂2種、カメムシ1種、甲虫3種、蜘蛛1種、イタチ、コイ(池の岸に産卵)、モグラ(盛り土)を観察しました。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ 計22種
<調査者>鈴木静治、間野吉幸、船津登、池田日出夫

オオヨシキリ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、カワラヒワ、ホオジロ 計29種+番外アヒル、カワラバト

<参加会員>北崎正典、船津登、西嶋昭生、渡邊俊文、田丸喜昭、西城猛、森本宜久、松村洋子、橋本了次、川上千里、青木典子、野倉元雄、千葉洋、肥後邦彦、小林博之、弘實和昭、間野吉幸、佐藤貴子、佐藤啓子、松田幸保、藤田かよ子、金子幸子、相良直己、村松寿夫、染谷迪夫、宮下三禮、小林寿美子、古出洋子、田中功、高橋善典、横尾佳代子、石井俊子、池田日出男、野口紀子、木村稔、百瀬喬、小川克子 (担当) 桑森亮、野口隆也 計39名

5月手賀沼探鳥会

5月9日(日)定例探鳥会に代えて、バードウィーク手賀沼探鳥会を実施しました。手賀沼親水広場で開催された Enjoy 手賀沼! にあわせ、我孫子鳥の博物館との共催、山階鳥類研究所後援の行事でした。探鳥会には市民41名と2名の鳥の博物館員、及び39名の会員、合計82名の参加がありました。

コースは手賀沼遊歩道に沿って、1時間コース(2班)と2時間コース(3班)の2通り(合計5班)で探鳥を行いました。

1時間コースは家族連れを含め、市民12名の参加がありました。認めた鳥は19種+番外2種の計21種でした。

2時間コースは市民29名の参加で、じっくりと探鳥を楽しんで頂き、認めた鳥の数も29種+番外2種の計31種と増えました。

2コースとも会員及び館員の鳥に関する説明に終始和やかに熱心に聞き入っていました。小田谷館員によるアオダイショウの実物説明のハプニングも好評でした。

最終は鳥の博物館で鳥合わせを行い、恒例の鳥ビンゴを確認、景品の写真カード選びに大いに目を輝かせていました。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、バン、オオバン、コチドリ、タシギ、イソシギ、ユリカモメ、トビ、カワセミ、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、

5月手賀沼定点カウント

調査日時 2016.5.7 9:00~11:30
快晴 強風 21~24℃

手賀沼の水量は更に増え干潟の全く見えぬ中、煽られる程の強風で小鳥類はほとんど飛ばず、少ないカモ類も葦の中へ入り込み湖面は寂しい限りの状況。

総数で前年より少ないであろうと比較してみると、なんと20羽多い結果となった。コブハクチョウが前年より21羽多いので他はカワウが減った分カルガモ、コガモが若干増えていた。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	29	2	31
カルガモ	9	19	28
コガモ	11	2	13
カイツブリ	4	2	6
カムリカイツブリ	3	1	4
カワウ	23	16	39
アオサギ	4	5	9
ダイサギ	1	0	1
オオバン	6	4	10
ユリカモメ	0	2	2
合計	90	53	143

<調査者>桑森亮、船津登、金子雅幸

5月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2016.5.5 9:30～11:30

快晴 微風 27～28℃

快晴のため日差しは強く、初夏の様。子供の日のため家族でのサイクリング多い。冬鳥のカモ類、ツグミなどは見られず、夏鳥のオオヨシキリの囀りが聞こえる。水田は田植え中でキジのみが畦を歩き、沼岸の葦の茂みでカイツブリ、カルガモ、オオバン、カワウが飛ぶ。ビオトープではオオヨシキリ、ホオジロ、シジュウカラが囀り、カワセミが鳴きながら池の水面上を飛ぶ。池の中島ではコブハクチョウが巣で抱卵中、カルガモが沼と池と水田の間を飛ぶ。観察した野鳥15種53羽、他に木の花、蕾7種、実1種、野草の花、蕾33種(うち園芸種2種)、実5種、蝶8種、蛾4種、蜂2種、甲虫7種、カメムシ5種、バッタ3種、ハエ2種、蛙2種、カメ1種も観察出来ました。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、オオバン、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、スズメ、ホオジロ 計15種

<調査者>鈴木静治、蒲田知子、船津登、池田日出男

葛西臨海公園探鳥会

4月24日

～期待のヘラサギとクロツラヘラサギのツーショット～

多葉田五男

スタート時は生憎の雨降りでしかも真冬のような寒さ、風も強くこれでは鳥はとても期待できないと思いました。ところが参加者全員の鳥見に対する熱い思いが天に届き1時間後には雨が上がり、風もおさまり午後には青空も広がって絶好の探鳥会日和になりました。

水鳥を中心に50種近くの野鳥を観察することができましたが、一番のハイライトはな

んといっても期待していたヘラサギとクロツラヘラサギのツーショットでした。東なぎさで2羽が並んで独特のしぐさで採餌していました。西なぎさから高性能フィールドスコープを覗かせていただき、ゆっくり観察することが出来ました。なんとか証拠写真も撮れました。西なぎさに移動する前の江戸川河口部では、遠くの岩礁で10数羽のミヤコドリが採餌していましたが、そこへ、なんと3、40羽のチュウシャクシギの群れが飛来しミヤコドリのそばに舞い降りました。こんなに沢山のチュウシャクシギを見るのは初めてでラッキーでした。また、水上バス乗り場近くからは遠くに千羽以上のユリカモメの大群やハマシギの丸い形の群れが飛んでいるのが見え、まさに壮観でした。汐風の広場等の林間には既にオオルリ、キビタキなどの夏鳥が渡来しているそうですが残念ながら当日は姿を見せませんでした。

今回の探鳥会では、幹事並びにベテランの方から園内の探鳥ポイントを丁寧に教えて頂き改めて素晴らしい探鳥地だと認識しました。これまで個人で何回も来園していますが全然知りませんでした。沢山の野鳥に出会えたことに加えこの公園の貴重な情報が得られ探鳥会に参加して本当に良かったと思いました。

最後になりましたが事前調査、きめ細かい連絡、当日の案内と鳥合わせ等、大変お世話になりました幹事の千葉さん、船津さんに深く感謝申し上げます。

【幹事報告】

行程 我孫子駅 8:02→8:15 新松戸 8:26
→9:00 葛西臨海公園・・・14:30 現地解散

天気予報によると9時にはやむはずだった小雨が冷たく降り続けるあいにくの午前だったが、昼前にはなんとか上がる。公園サービスセンター情報によると、干潮時刻が12:10であったため、午前中は鳥類園を、午後から西なぎさ、東なぎさ(水路越しに観察)、芦ヶ池方面の順で探鳥。なかなか見られないヘラサギ、クロツラヘラサギを比較的近くから観察できたのが大きな成果だった。

<認めた鳥>オカヨシガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、カイツブリ、カンム

リカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、バン、オオバン、コチドリ、ミヤコドリ、タシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、アオアシシギ、キアシシギ、キョウジョシギ、ハマシギ、ユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、コアジサシ、アジサシ、ミサゴ、コゲラ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、アオジ 計 49 種 番外 カワラバト
<参加者>池田日出男、大久保陸夫、川上貢、桑森亮、相良直己、佐藤貴子、多葉田五男、間野吉幸、村松寿夫、横尾佳代子、渡辺公子（幹事）船津登、千葉洋 計 13 名

稲敷シギチ探鳥会

5月15日

～初夏のシギチ探鳥会～

佐藤貴子

バードウォッチングを始めたのは半年前のこと。一足先にバードウォッチングを始めた母から鳥見の楽しさを聞いているうちに、そんなに面白いならわたしも始めてみようかと思ったのがきっかけでした。そもそも自分で識別できる鳥といえば、片手で数えられる程度でしたので、今年一月に我孫子野鳥を守る会に入会してから参加している探鳥会では毎回、わたしにとって初めて観察する鳥が何種類もいます。今回の稲敷探鳥会のご案内をいただくまで、シギチとはシギ科・チドリ科の鳥の総称だとは知りませんでしたし、知ったところで、どんな鳥がシギチなのか想像もつきませんでした。くちばしが細長く、上や下に反った鳥を図鑑で見たときに、こんな鳥たちを間近で観察できるのなら！と迷わずに参加の申し込みをしました。稲敷へ向かう車内からは何羽も鳥の姿が見られましたが、初心者グループの2号車（母と夫とわたし）は図鑑と首っ引きでもなかなか識別できません。そして敏捷に飛び回られてしまうとお手あげです。何度も「なにかい

たね」と繰り返しているうちに、最初の探鳥ポイントへ到着しました。

田植え直後の水田やハス田を巡った今回の探鳥会では、わたしにとって初めて観察する鳥が6種類もいました。その中でも印象に残ったのはムナグロとタカブシギとセッカです。青く晴れ渡る空の下、ひなたぼっこをするように畦道にのんびりとたたずむムナグロは特に可愛らしい姿でした。ご一緒させていただいた方々のフィールドスコープをお借りしたときは、双眼鏡では見ることができない細かな部分まで観察でき、ムナグロがゆっくりとまばたきをしている様子を見る事ができました。また、オオヨシキリが葦につかまり、左右に揺られながらさえずっている様子を目の前で観察し、食紅でも塗られたような朱色の口を確認できたのも嬉しい一コマでした。

今回もベテランのバーダーの方々に囲まれ、バードウォッチングを楽しむコツやヒントを教えていただいた楽しい探鳥会でした。幹事さん、そして参加された会員の皆様、どうもありがとうございました。

【幹事報告】

春の渡りの季節、ここ数年は種類も数も多くは見られていないがそれでも夏羽の美しいシギチに何とか巡り合いたい...と、稲田蓮田を走り回った。

ムナグロ、トウネンの飛翔やタカブシギ、キョウジョシギ、チュウシャクシギなどそれなりには観察したが、時期がやや遅かったか期待のツルシギ、エリマキシギには出会えずに終わった。そんな中、蓮田を飛び回っていたツバメの中に亜種アカハラツバメらしき鳥を中根さんが撮影したが、写真がやや不鮮明で断定するまでには至らなかった。

この時期の探鳥会としてはシギチだけを探すのではなく、合わせて銚子辺りで夏羽の海鳥を楽しむ事も、今後は検討してみる価値があるかも知れない。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、バン、オオバン、ムナグロ、コチドリ、タカブシギ、イソシギ、トウネン、キョウジョシギ、チュウシャクシギ、トビ、チョウゲンボウ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ツバ

メ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、コジュリン 計 35 種
番外カワラバト

<参加者>大久保陸夫、古賀嗣朗、相良直己、佐藤貴子、佐藤啓子、アンドリュー・マクノートン、内藤正久、内藤千鶴子、中根忠、野倉元雄、船津登、間野吉幸、横尾佳代子
(担当) 松本勝英、金子雅幸 計 15 名

松之山探鳥会

5月29日、30日

～アカシヨウビンの声が哀れ、でも～

船津登

私は、今回の探鳥会でアカシヨウビンを探そうと参加しました。

5月29日(日)の天気は、うすぐもりで暑くなく過ごしやすい朝です。7時半前に我孫子を出発し、道路がすいていたため、予定より45分早く10時15分に塩沢石打ICに着きました。最初の探鳥地美人林に向う道、横が空いているトンネルで、腰の白さが目立つイワツバメが、勇壮に飛んでいました。美人林の駐車場で、昼食を取り探鳥を開始しました。男子トイレの中には、ツバメの巣があり、1羽のツバメが洗面の鏡のふちにたたずんでおり、私とツバメの距離は、約50cmでこんな近くで見たのは初めてで、かわいいなと感じました。若葉をたたえ、真っ直ぐに立っているブナ林は、非常にきれいです。林の中からは、キビタキのさえずる声が聞こえますが姿は確認できませんでした。次のポイントでは、電線に止まっている胸が黄色のノジコが、迎えてくれました。チゴモズは、14時頃まで待ちましたが現れませんでした。その間、ホトトギスの声、遠くの木に止まるカッコウの姿が確認されました。一度今日の宿である松之山温泉の野本旅館に立ち寄り、荷物を置きバスで急な坂道を上った所のブッポウソウポイントへ行きました。木、電柱に止まるサシバが見られ、その後、ブッポウソウが1羽飛んできて木に止まりま

した。逆光のため、橙色の嘴以外は黒く見えませんでした。もう1羽が飛んできて、木の上でいちやついているように見られました。その後、2羽のブッポウソウは、巣箱の近くの電線に並んで止まる、黒い頭、青紫の体が、きれいに見えました。坂を下りて旅館に向う途中に、テレビで放送される伝統行事「むこ投げ」が行われるお堂がありました。お堂は、急な坂の上であり、雪が積もっている中で投げられても大変だと感じました。旅館で温泉につかり、夕食後懇親をして、明日の早朝探鳥にそなえ就寝しました。

5月30日(月)、天気予報では、雨でしたが、路面はぬれているものの雨は降っておらず、曇りでそれほど寒くはありません。5時半に早朝探鳥に出発し、最初のポイントで頭が灰色、背が茶色のきれいなチゴモズが電線に止まっていました。今回は、全員が見られラッキーでした。また、キビタキの姿も確認できました。次は、美人林の探鳥で早朝のため人は少なく、林の中からは、ドラミングの音、キビタキの鳴き声が聞こえ、林の奥に進むと木の頂きに止まるサンシヨウクイが確認されました。棚田を望む景色のよい高台では、緑の木の頂きに青と白が鮮やかなオオルリが見られました。上空を飛ぶホトトギスの姿も確認されました。朝食後、宿を出て再びブッポウソウポイントへ行き、2羽のブッポウソウのきれいな姿、ゲッゲッと濁った鳴き声が確認されました。丘の上にある竜ヶ窪に行く道では、雪が残る山、眼下を流れる信濃川など景色を堪能できました。竜ヶ窪では、各自ペットボトルに名水を汲みました。木々の間から見られる深緑の池は、美しく私達を癒してくれます。林の中からは、センダイムシクイの声が聞こえました。長野県栄村の「平滝地区」では、杉林からアカシヨウビン、サンコウチョウの声がよく聞こえましたが、姿は確認できず残念でした。アカシヨウビンの姿を皆が一生懸命探しましたが、見られず声が哀れに聞こえました。杉林の中からブッポウソウ2羽が現れ、電線に止まりました。最後に木に止まるサシ

バ、トビを確認し、探鳥を終了しました。帰路では、高崎 IC 付近で雨が降っていましたが、直接雨に遭わず天気にも恵まれた探鳥会でした。参加者各自が、探鳥だけでなく、それぞれに景色、花、チョウ・トンボなど昆虫、山菜採りを楽しめたと思われました。会を準備、案内した幹事の桑森さん、金子さんにお礼を申し上げます。

【幹事報告】

メイン探鳥地の松之山は観察が難しくなったブッポウソウをはじめ、珍しい夏鳥と出会える貴重な地区です。今回の二日間の探鳥会は、ほぼスケジュール通りに運営でき、認めた鳥たちもほぼ期待通りの成果で、2日間を通して49種の鳥を認められました。天気は初日は好天で、2日目は雨模様の予報でしたが、朝5時には雨が上がり、何とか2日間雨に降られずに済みました。

初日の探鳥先は「松之山地区」で、昼少し前に美人林で昼食をとり、ノジコ、ブッポウソウなど、当地区ならではの鳥たちを狙い、4か所のポイントを巡りました。

2日目の早朝と午前中は初日とほぼ同じポイントを回り、全員がブッポウソウの番いの仲睦まじい姿を堪能しました。昼前には松之山を離れ、日本の名水百選の地でもある津南町の「竜が窪」を回り、長野県栄町の「平滝地区」を訪れました。

平滝地区の狙いはブッポウソウとサンコウチョウですが、本命は今一でしたが、なんとアカショウビンの轉りが終始聞くことができました。探鳥の締めはサシバとトビが近くで見られ、アカショウビンの声が後ろを見送ってくれました。

松之山は夏鳥の中でも観察が難しくなった鳥たちが集中して見られる探鳥地であり、会員の皆さんのニーズも考慮しつつ、2,3年毎には訪れたい地区ではないでしょうか。

<認めた鳥>カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ホトトギス、ツツドリ、カッコウ、アマツバメ、ハリオアマツバメ、トビ、サシバ、オオタカ、アカショウビン、ブッポウソウ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、サンショウクイ、サンコウチョウ、チゴモズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、イワツバ

メ、ヒヨドリ、ウグイス、ヤブサメ、エナガ、センダイムシクイ、メジロ、オオヨシキリ、ムクドリ、クロツグミ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ、スズメ、ニュウナイスズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ、ノジコ 計49種

<参加者>中西榮子、弘實和昭、弘實さと子、古出洋子、船津登、多葉田五男、間野吉幸、阿保進、宮下三禮、青木典子、丸嶋紀夫、金子幸子、野口洋子

(幹事) 金子雅幸、桑森亮 計15名

第18回 野鳥サロン実施報告

日時 5月23日(月) 9:30~11:30

場所 水の館3階研修室

内容 台湾の探鳥について

①訪れた探鳥地 大雪山森林遊楽区と金門島について

②今年の台湾探鳥会編纂DVDの放映

③DVD 「生命の歌 鶯鼓」& 「賞鳥 台湾特有種野鳥」の放映

①の大雪山森林遊楽区の見どころについては、写真入りの地図で低、中、高海拔の違いで見られる主な野鳥の紹介をし、ここでは高山鳥類の70%以上を見ることが出来るとの説明があり、金門島については本島より中国福建省廈門に近い島との位置情報、面積などを紹介したうえ、渡り鳥の通過地であり多くの水鳥が見られることを、過去5回台湾探鳥会に参加した間野会長が判りやすく紹介してくれました。

②は相良直己さんが今年の探鳥会の様子や見られた野鳥を、参加者が撮影した写真を基にDVDに編纂したもの(約43分)を放映しました。

参加者は当時の感動を再びよみがえらせ、口々に感嘆の声を上げていました。未参加の方々には、次回の探鳥会には是非という気分になりましたでしょうか?

③南西部の海岸線に面した防風林地区の鶯鼓湿地(200種類以上の鳥類が生

息する地区)と台湾固有種野鳥の2本のDVDのいずれも一部を放映。

天野睦子、弘實さと子、青木典子、松村洋子、相良直己、大久保陸夫、橋本了次、村松寿夫、松本勝英

<参加者>石井俊子、野口隆也、天野正臣、

(担当)間野吉幸、佐々木隆、古出洋子

平成28年度定期総会報告

日時 4月10日(日) 13:30~15:00

場所 水の館 3階研修室

出席者数 30名

- 議案
- ・1号議案 平成27年度事業報告(案)
 - ・2号議案 平成27年度決算(案)及び監査報告書
 - ・3号議案 平成28年度事業計画(案)
 - ・4号議案 平成28年度予算(案)

議事

開会宣言、会長挨拶、議長選出の後、各議案について報告・提案され、質疑応答を経て、審議の結果、原案通り承認・決議されました。なお、平成27年度決算と28年度予算は次の通りです。

項目	平成27年度決算	平成28年度予算
収入の部		
会費	308,000	300,000
会行事収入	1,485,625	1,500,000
その他の収入	80,597	
前年度繰越金	848,243	806,406
合計	2,722,465	2,606,406
支出の部		
野鳥の部	1,479,218	1,540,000
環境保全の部	0	2,000
啓発活動の部	222,236	261,000
庶務の部	92,929	114,000
その他の費用	21,576	50,000
別途積立金	100,000	100,000
次年度繰越金	806,406	539,406
合計	2,722,465	2,606,406

(単位:円)

5月役員会報告

日時 5月8日(日) 13:00~16:00

場所 水の館 3階研修室

議事

1. 平成28年度下期行事計画について

事務局からの提案を検討し、次の通り決定しました。

年/月	実施日(曜日)	行事内容	担当
28/10	1(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	6(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	9(日)	手賀沼定例探鳥会 (事務局会議)	小林(寿)、村井
	23(日)	手賀沼流域フォーラム	
28/11	3(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	4(金)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	5(土), 6(日)	ジャパンバードフェスティバル	幹事全員
	13(日)	手賀沼定例探鳥会 (役員会)	小澤

	19(土),20(日)	日光あちこち探鳥会	金子、弘實
	27(日)	行徳・江戸川探鳥会	相良、鈴木
	未定	第 21 回野鳥サロン	船津、松本、野口(隆)
28/12	1(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	2(金)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	3(土)	親子ふれあい探鳥会	野口(隆)他 6 名
	4(日)	統一クリーンデー、ふれあい清掃	小澤、野倉
	11(日)	手賀沼定例探鳥会 (事務局会議)	船津
	18(日)	岡発戸・都部谷津探鳥会&芋煮会	幹事全員
	22(木)	長寿大学探鳥指導	金子他 4 名
	25(日)	小見川・神之池・江戸崎探鳥会	松田、小澤
29/01	5(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	7(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	8(日)	手賀沼定例探鳥会 (役員会)	桑森
	22(日)	本埜・印旛沼探鳥会	桑森、古出、石井
	28(土)	井頭公園探鳥会	松本、小林(寿)
	29(日)	市民手賀沼船上探鳥会	間野他 3 名
	未定	第 22 回野鳥サロン	松田、木村、古出
29/02	2(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	4(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	5(日)	亀成川を愛する会探鳥指導	間野他 7 名
	12(日)	手賀沼定例探鳥会 (事務局会議)	松田
	19(日)	渡良瀬遊水地探鳥会	野口(隆)、石渡
29/03	2(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	3(金)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	4(土),5(日)	常磐港巡り探鳥会	金子、松田
	12(日)	手賀沼定例探鳥会 (役員会)	松本
	19(日)	秋ヶ瀬公園探鳥会	船津、村井、青木
	未定	第 23 回野鳥サロン	青木、小澤、金子

2. 平成 28 年度役員の事業別分担について

会長及び事務局からの提案を検討し、一部を修正し決定しました。

なお、退任・新任幹事及び事務局体制は次の通りです。

【退任幹事】金子幸子、染谷迪夫、類地佑子、六角昭男 計 4 名

【新任幹事】弘實和昭、小林美智子 計 2 名

【事務局員】桑森亮 (事務局長)、金子雅幸、北崎正典、相良直己、野口紀子、野倉元雄、船津登 計 7 名

3. 幹事の補充選任について

会長が新任幹事に小林美智子を推薦し、承認されました。

4. ほーほーどり 251 号掲載予定記事

会報 251 号の掲載記事について検討し、執筆担当等を決定しました。

5. 鳥便り改善タスクチーム及び新規探鳥先開拓タスクチームの設置について

事務局からの提案を検討し、大綱を決定しました。

6. 第 19 回「野鳥サロン」について

7 月実施予定で担当幹事が検討中で、実施日とテーマが決まり次第周知されます。

また、役員変更に伴う今後の野鳥サロンの担当幹事について決定しました。

7. 報告事項

次の事項が報告されました。

- ① 対外活動報告（美手連関係、あびこ市民活動メッセ、JBF2016 関係等）
- ② 事務局報告事項

以上

寄稿

＜前号からの続き＞

手賀沼ビオトープの四季、10年間の野鳥観察（後編）

鈴木静治

③定期的定点観察の楽しみ

野鳥を中心に生息環境、草木、虫、小動物等を定点で月一回、一年を通して観察、記録しますと、前月、先々月等の比較で季節の移り変わりを感じるとともに、一年を通してみますと鳥、草木、虫などを観察出来る時期が判ってきて、次年度の観察の参考になります。本会で40年間行っている手賀沼水鳥カウント調査、鳥博友の会で行っている北新田探鳥会、鳥博で行っている我孫子市の公園の調査(中里市民の森、宮の森公園、天王台西公園、根戸船戸公園等)のデータと比較してみますとそれらの場所にのみ生息する野鳥が判ります。私は個人的に、毎年場所を変え、例えば2014年は布佐市民の森、2015年は手賀川、下手賀川合流点（発作）、2016年は利根川河川敷(江蔵地)、余間戸公園で調査していますが、他ではあまり調査されない場所です。これらの場所で野鳥を観察すると色々気が付く事が有ります。布佐市民の森では冬カルガモ、コガモ、オオバン、カイツブリ等しか見られないのに12月に渡り途中のオカヨシガモ、ホシハジロ、ヨシガモがコガモ、カルガモに混じり池に群れ、その後居なくなりましたが、4月には1ヶ月近くヨシガモ♂♀がこの池に滞在しました。手賀川(発作)は秋に夕方チュウサギがアマサギ、ゴイサギ等と500羽程度の埒をつくり、その埒入りを見るのはじつに壮観です。また利根川(江蔵地)では冬はベニマシコ、数千羽のマガモ、数百～千羽のキンクロハジロ、ホシハジロ、ヒドリガモの群れ、タカ類を観察するのは楽しみです。話を手賀沼ビオトープに戻しますが、2015年(計45種観察)と2014年(計49種観察)の比較してみますと、2014年見られたのに2015年見られなかったのは13種、逆に2014年見られなかったのに2015年見られたのは8種もあります。月1回定期的に見て記録すると、生息環境、鳥の出かたが変わったことに気が付くと思います。出来れば個人的な定期的定点観察をすることをお勧めします。日本野鳥の会を始めた中西悟堂さんの山中湖畔のカルピス社長三島海雲さんの別荘で朝3:20~4:37の払暁の鳥、カッコウ、アオジ、アカハラ、・・・、センダイムシクイの20種の鳴き声を聞き記録した文章(中西悟堂、野鳥のすみか、春秋社、2004年)がありますが、それに倣って、夜明け前から早朝にかけて、家にいてまたは近くの公園で聞えてくる鳥の声を月一回経時的に記録しても10~15種/月は観察出来ると思います。

④手賀沼ビオトープの変遷

ビオトープ(ドイツ語 Biotop)は色々な生物が生息、生育できる場所のことです。主に欧州で自然を乱開発した反省から、人工的に作られた河川等を自然に近い形に戻し、それによって多種多様な生物を復活させるとともに、本来自然がもっていた浄化、修復能力を利用するものです。日本の人里は水田耕作を主とした水の多い環境で、戦後、最も壊されたのが「水辺環境」で、河川は護岸工事で固められ、川の汚濁は進み、水田は圃場整備事業により広いが単純で乏しい生態系になり、水路から切り離され、更に農薬散布があり、昔、身近に見られた多くの生物、例えばメダカ、ドジョウ等が姿を消しました。こうした中で1990年代からビオトープ事業が行われるようになる。手賀沼ビオトープは1999年春に作られました。手賀沼の汚れが1962年最高COD28mg/L、1997年25、ビオトープがつけられた1999年には18、でした。この手賀沼ビオトープは手賀沼の水質改善、水辺環境をよくするための一つとして、水生植物(抽水植物のヨシ、マコモ、ヒメガマ等、沈水植物のガシヤモク等)を使い、水をきれいにし、もといいた生物が住める場所をつくるため、1999年に手賀沼北岸に、人の立

ち入りしない「生物の生息ゾーン」、生物を見る「観察ゾーン」、水生植物(稲、抽水植物、沈水植物)等を育てる「手づくりゾーン」からなる手賀沼ビオトープが造られました。このビオトープの各種調査が行われるようになり 1999 年 5 月より千葉県よりの委託研究として鳥類調査をすることになりました。それ以来 2009 年度まで月一回、10 年間続いてきましたが、県の財政難と水質改善(COD 8、環境基準は 5)のため委託研究は中止となりました。野鳥調査を中止するのはデータが途絶えますので、有志により調査を継続することにしました。2012 年からは会の定期行事として行っています。現在 17 年間調査し、18 年目に入っています。調査メンバーは私が入る前は、西巻さん、佐々木さん、川田さん、谷山さんの 4 名で、2006 年 4 月より猪爪さん、川田さん、谷山さん、鈴木の 4 名で、実施しました。途中川田さん(~2011/3)、谷山さん(~2013/5)、猪爪さん(~2013/7)が抜けられ、新たに間野さん(2011/3~)、蒲田さん、金子(雅)さん(2012/6~)、池田さん、船津さん(2013/5~)に加わって頂いて現在 6 名で調査を行っています。2012/3/13~18 には会 40 周年記念写真展では間野さん、谷山さんがデータを纏められ「手賀沼ビオトープの鳥たち」1999/5~2011/12 の 13 年間の調査結果として、けやきプラザ 2F の第 2 ギャラリーで展示しました。手賀沼ビオトープの調査日は 2010/2 までは毎月定例会時(日)に手賀沼探鳥会と別行動で行っていましたが、調査メンバーが手賀沼探鳥に参加できないので、平日に行う事にし、現在は現地集合で、毎月第 1 木曜日 9:30-11:30am(7~9 月は 8:30~10:30am)に行っています。雨天の場合は延期して行います。詳細は会報の予定に案内を載せていますので参照してください。調査場所は手賀沼北岸の岡発戸新田にある手賀沼ビオトープとその周辺の田と手賀沼の岸近くを対象にし、東より西に水田側から沼側へ一周して行っています。2009 年度以降 2011 年度まで手づくりゾーンで「体験コメ作り」、「カヤネズミの調査」、「沈水植物による水質改善」、「湿地の植物再生」等が行われてきましたが、2012 年度からこれらが行われなくなり、ビオトープが出来る前と同じ葦原に戻って、この中の野鳥は観察しにくくなっています。しかし、2014/10~2015/1 に行われた生息ゾーンの抽水植物移植工事で拡張された池周辺では野鳥が観察出来やすくなり、この 3 月には池の周辺をクイナが歩くところを観察出来るようになりました。なお手賀沼ビオトープの鳥類観察は 6 名で都合のつく人で行っています。間野さん、蒲田さんは野鳥を、船津さん、金子さんは野鳥と蝶、トンボを、池田さんは野鳥の他にバッタ、蜂、コガネムシ、カメムシ、ゾウムシ等の昆虫とクモ等を、鈴木が野鳥の他に草木の花、実、種を観察しています。野鳥とそれらの生息する環境に興味のある方は、一度ビオトープの鳥類調査に試しにいらしてください。花鳥風月を楽しみながら、野鳥の住みかとお食べ物(木の実、草の種、昆虫、魚等)、渡り等の関連を考えると面白いと思います。(完)

鳥 だ よ り

「目には青葉・・・」といえばホトトギスですが、昨年の初認は 5/16 でしたが、今号に初認の記録はなく、少し遅いようです。その代わり青葉が芽生える季節に飛来することが名前の由来のアオバズクの初認は 5/12 でした。昨年、地球温暖化が東南アジアから日本に渡ってくる夏鳥(ツバメ、オオヨシキリ、コムクドリ)の渡来時期を早くしている傾向があるとの山科鳥類研究所の調査をこの欄で紹介しました。今年、ツバメは 3/22(前年 3/21)、オオヨシキリは 4/18(前年 4/19)、コムクドリは 4/14(前年 4/27)で、コムクドリはここ 5 年で一番早い初認でした。また、昨年のこの時期に鳥だより初登場のオオセッカが今年も 4/16(2 件)に観察されました(昨年 3/29:1 件)。また、サンコウチョウの初認は例年通り 5/9 でしたが、この初認記録が過去 5 年全て同じ観察者の方というのも珍しいですね。春・秋の渡りの次期に飛来するウズラシギ、5/14 の初認で、春の観察記録(2011 以降)では 2011(4/28)、2012(4/30)

で、一番遅い初認記録でした。

- 2.15 [白山3丁目] ヤマガラ(1) 地面に下りて採食していた。 間野吉幸
- 3.21 [柏市] ツミ(2) 9:45、雌雄各1羽が同じ枝に止まった 飯泉仁
- 3.21 [柏市] ツミ(2) 10:03、雌雄が交尾 飯泉仁
- 3.21 [柏市] ツミ(1) 10:07、雌が巣に入った 飯泉仁
- 3.22 [並木5丁目] ツバメ(1) 電線に止まって啼く。 畠中暁美
- 3.23 [片山(手賀の丘公園)] オカ(1) 林の中で鳴く 船津登
- 3.23 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(4) 杉の木で鳴きながら動く 船津登
- 3.23 [ヒドリ橋] ツバメ(1) 飛翔 吉田隆行
- 3.25 [片山新田] トビ(3) 上空で3羽が1つの輪を作りながら飛ぶ 船津登
- 3.25 [片山新田] アマツバメ(5) 上空を群で飛ぶ 船津登
- 3.25 [片山新田(手賀沼側)] チュウビ(1) 葦原の上を飛ぶ 船津登
- 3.25 [手賀沼遊歩道(上沼田地先)] トビ(1) 飛翔 桑森亮
- 3.25 [手賀沼遊歩道(高野山新田地先)] アリス(1) 飛んできて葦中に入る 桑森亮・中根忠
- 3.26 [相島] ノスリ(1) 田の杭に止まる 鈴木静治
- 3.26 [岡発戸新田] ツバメ(1) 田、沼上を鳴きながら飛ぶ 鈴木静治
- 3.26 [高野山新田] オカ(1) 木の天辺で鳴いていた 吉田隆行
- 3.26 [千間橋] トビ(1) 川、田の上空を滑空 鈴木静治
- 3.26 [都部新田] トビ(1) 川の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 3.28 [曙橋] アリス(1) 飛んできて樹上に止まる 桑森亮
- 3.28 [片山(手賀の丘公園)] オカ(1) 上空を飛ぶ 船津登
- 3.28 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(3) 船津登
- 3.28 [片山(手賀の丘公園)] アトリ(3) 地上で採食 船津登
- 3.28 [柏市] ツミ(1) 9:03、雌が枝に止まって鳴いていた 飯泉仁
- 3.28 [柏市] ツミ(2) 10:10、雌雄が交尾 飯泉仁・飯泉久美子
- 3.28 [船戸1丁目(船戸の森)] ヤマガラ(2) 木の上で休息していた。 間野吉幸
- 3.28 [鷺野谷新田] ノスリ(1) 電柱に止まる 船津登
- 3.29 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] ミソゴ(1) 杭上で休む 桑森亮
- 3.29 [戸張新田(手賀沼側)] アリス(1) 葦原から飛び上がり柳の木に止まる 船津登
- 3.29 [鷺野谷新田] チョウゲンボウ(1) 電柱に止まる 船津登
- 4.02 [手賀沼] オカ(2) 上沼1,下沼1 桑森亮・船津登・金子雅幸
- 4.02 [手賀沼] ノスリ(2) 下沼2 桑森亮・船津登・金子雅幸
- 4.02 [手賀沼] ハヤブサ(1) 上沼1 桑森亮・船津登・金子雅幸
- 4.02 [柏市] ツミ(2) 9:29、雌雄各1羽が交尾 飯泉仁
- 4.02 [柏市] ツミ(1) 9:34、雄が巣から離れた木の枝を折り、巣に運び入っていた 飯泉仁
- 4.02 [柏市] ヤマガラ(1) 9:34、林縁を鳴きながら移動 飯泉仁
- 4.03 [片山新田] ベニマシコ(1) 14:12、葦原の中を鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.03 [戸張新田] ハヤブサ(1) 鉄塔96の天辺に止まっていた 吉田隆行
- 4.03 [柏市] ツミ(1) 11:18、雄が巣の中に移動 飯泉仁
- 4.03 [柏市] ツミ(2) 11:19、巣の防御を雌から雌に交代 飯泉仁
- 4.03 [若白毛] サシバ(1) 12:39、住宅街上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.03 [若白毛] ヤマガラ(1) 15:35、林縁から鳴き声 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.03 [鷺野谷] ノスリ(1) 13:06、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.05 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(2) 木の中で鳴く 船津登
- 4.06 [大井新田(手賀沼)] ミソゴ(1) 沼の杭に止まる 船津登
- 4.06 [片山新田(手賀沼側)] ヒクケ(1) 葦原から鳴き声が聞こえる 船津登
- 4.06 [高野山] サシバ(1) 声

浅井芝樹・齋藤武馬・(投稿平岡考)

- 4.06 [布佐平和台] チョウゲンボウ(1) 鉄塔近くの上空で飛ぶが、ハボツガラス2羽にモソクされる 鈴木静治
- 4.08 [江蔵地] トビ(1) 上空を滑空する 鈴木静治
- 4.08 [江蔵地] ベニマシコ(2) 花穂の付く柳の木より飛び立つ 鈴木静治
- 4.08 [中峠] サシバ(1) 鳴き声。電信柱と隣家のテレビアンテナの間を飛翔。午後、周囲の雑木林、畑で鳴き続ける。 松本勝英
- 4.09 [大井新田] トビ(1) 上空を飛ぶ 鈴木静治
- 4.09 [戸張新田] ハブサ(1) 鉄塔上より飛び立ち、獲物を脚に持ち鉄塔に帰る 鈴木静治
- 4.09 [中峠] サシバ(2) 電柱頂き、竹林トップに止まる。 松本勝英
- 4.09 [柏市] ツミ(2) 9:05、雌雄各1羽、交尾 飯泉仁
- 4.09 [岡発戸新田] トビ(1) 斜面林上を滑空するも、ハボツガラスにモソクされる。 鈴木静治・船津登・間野吉幸・池田日出夫
- 4.10 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] ヒクケ(1) 葦原から鳴き声 桑森亮
- 4.10 [手賀沼遊歩道(上沼田地先)] ヒクケ(1) 葦原から鳴き声 桑森亮
- 4.10 [柏市] ツミ(1) 10:40、巢の近くの枝に餌を持参し飛来 飯泉仁
- 4.10 [柏市] ツミ(2) 10:43、雄が雌に餌をプレゼント 飯泉仁
- 4.11 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(1) 船津登
- 4.12 [大井新田(手賀沼側)] チュウヒ(1) 葦原の上を飛び、カルガモ、コガモ、アオサギが葦原から飛び出す、アオサギ2羽がチュウヒを追いかける 船津登
- 4.12 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] ホオカ(1) 遊歩道脇の葦先に止まる 桑森亮
- 4.12 [手賀沼遊歩道(上沼田地先)] ヒクケ(1) 葦原から鳴き声 桑森亮
- 4.12 [中峠] ヤマガラ NR 空中ブランコのように次々と杉枝で逆さで採餌 松本勝英
- 4.12 [中峠] クサシギ(3) 水路にて動かず 松本勝英
- 4.12 [中峠] チョウゲンボウ(1) 眼前を突然、横切り、後ろ姿を見送った。 松本勝英
- 4.13 [千間橋] ホオカ(2) 飛んで来て葦に止まる 鈴木静治
- 4.13 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] ヒクケ(1) 葦原から鳴き声 桑森亮
- 4.13 [手賀沼遊歩道(上沼田地先)] ヒクケ(1) 葦原から鳴き声 桑森亮
- 4.13 [発作] トビ(1) 電柱に止まり鳴く 鈴木静治
- 4.14 [高野山(遊歩道)] コムトドリ(9) 桜の花がらをついばむ 船津登
- 4.15 [片山(手賀の丘公園)] マドリ(2) 木に止まる 船津登
- 4.15 [北新田] トビ(4) 飛翔 畠中暁美・松田幸保・他7名
- 4.16 [大井新田地先上沼] ヒクケ(1) 葦中から声 志賀鉄雄
- 4.16 [片山新田先手賀沼] サシバ(1) 14:55、電柱の天辺に飛来し、トラクターの耕起している方向を凝視 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.16 [上沼(戸張新田地先)] オセッカ 1+葦原で囀っていた 吉田隆行・鈴木静治
- 4.16 [戸張新田] オセッカ(1) 沼の葦原の中を動き、囀る 鈴木静治
- 4.16 [中峠] サシバ(2) 里山に雌雄2羽のサシバが飛来 中根忠
- 4.16 [中峠] サシバ(1) 樹上から飛んで移動 桑森亮・中根忠・他
- 4.16 [発作] トビ(1) 川、田の上空を滑空 鈴木静治
- 4.16 [発作] コムトドリ(5) 桜の木に群れて止まる 鈴木静治
- 4.16 [柏市] ツミ(1) 10:04、雌が足にスズメをぶら下げて出現 飯泉仁
- 4.16 [柏市] ツミ(2) 10:06、雌雄各1羽、交尾行動 飯泉仁
- 4.16 [布瀬] チョウゲンボウ(1) 丘の森の上を飛ぶ 鈴木静治
- 4.16 [布瀬] サシバ(1) 13:45、北方向の林の上空を飛翔 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.16 [布瀬新田] チョウゲンボウ(1) 農道の電柱に止まる 鈴木静治
- 4.16 [発作] トビ(1) 12:37、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.16 [発作] トビ(1) 13:01、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.16 [発作] トビ(2) 13:09、2羽でディスプレイフライト 飯泉仁・飯泉久美子

- 4.16 [鷺野谷新田] ノリ(1) 電柱に止まる 鈴木静治
船津登
- 4.18 [片山(手賀の丘公園)] 材刈(1) 枯木に 志賀鉄雄
止まる 船津登
- 4.18 [片山(手賀の丘公園)] サバ(1) 林から 鈴木静治
飛び出し上空を飛ぶ 船津登
- 4.18 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(3) 鈴木静治
船津登
- 4.18 [第2機場] コムドリ3+桜の木で採餌 飯泉仁
吉田隆行
- 4.18 [手賀沼遊歩道(高野山新田地先)] コム 飯泉仁・飯泉久美子
ドリ(1) 樹中を動く 桑森亮
- 4.18 [手賀沼遊歩道(高野山新田地先)] 材刈 船津登
(1) 葦先で囀り(初認) 桑森亮
- 4.19 [泉(手賀の丘公園裏谷津)] サバ(3) 1羽 船津登
は電柱から森に飛び立つ、2羽は草地・
低木から飛び立ち森に入る 船津登
桑森亮・中根忠・他
- 4.19 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] 材刈 桑森亮
(1) 葦中から遊歩道に出てくる 桑森亮
- 4.19 [中峠] サバ(2) カラスにモビングされ逃げ 桑森亮
る 桑森亮・中根忠・他
- 4.20 [大井新田地先上沼] ヒクケ(1) 葦中から 志賀鉄雄
声 志賀鉄雄
- 4.20 [手賀沼遊歩道(高野山新田地先)] コム 桑森亮
ドリ(1) ♀が桜の樹で採餌 桑森亮
- 4.20 [中峠] サバ(1) サシバが頻繁にカラス 中根忠
のモビングを受ける 中根忠
- 4.20 [柏市] ツミ(2) 9:58、雌雄各1羽、雄が雌 飯泉仁
に餌をプレゼント 飯泉仁
- 4.21 [大井新田地先上沼] ヒクケ(1) 葦中から 志賀鉄雄
声 志賀鉄雄
- 4.21 [岡発戸(市民の森)] ヤマガラ(1) 樹間で囀 桑森亮
り 桑森亮
- 4.21 [第2機場] コムドリ30+桜の木で採餌 吉田隆行
吉田隆行
- 4.22 [大井新田地先上沼] ヒクケ(1) 葦中から 志賀鉄雄
声 志賀鉄雄
- 4.22 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] 材刈 桑森亮
(1) 遊歩道脇の葦先に止まる 桑森亮
- 4.22 [発作] チョウゲンボウ(1) 森から田へ飛び 鈴木静治
出す 鈴木静治
- 4.22 [発作] トビ(1) 葦原、田の上を飛ぶ 鈴木静治
鈴木静治
- 4.23 [大井新田地先上沼] ヒクケ(1) 葦中から 志賀鉄雄
声 志賀鉄雄
- 4.24 [岡発戸新田] トビ(1) 上空を飛ぶ 鈴木静治
- 4.24 [上沼] 材刈(1) 葦中から声 志賀鉄雄
- 4.24 [千間橋] チョウゲンボウ(1) 田上を飛ぶ 鈴木静治
- 4.24 [高野山新田] 材刈(1) 葦の茂みで囀 鈴木静治
る 鈴木静治
- 4.24 [柏市] ツミ(1) 10:15、雄が鳴きながら帰 飯泉仁
還 飯泉仁
- 4.25 [片山] ヤマガラ(1) 14:04、林の中で囀 飯泉仁・飯泉久美子
り 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.25 [片山(手賀の丘公園)] トビ(2) 鳴きなが 船津登
ら上空で輪を描き飛ぶ 船津登
- 4.25 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(3) 船津登
船津登
- 4.25 [片山(手賀の丘公園)] キタタニ(1) 小枝に 船津登
止まる 船津登
- 4.25 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] コム 桑森亮
ドリ(4) 桜の樹間で採餌 桑森亮
- 4.25 [手賀沼遊歩道(高野山新田地先)] ヒクケ 桑森亮
(1) 葦原の奥から鳴き声 桑森亮
- 4.25 [柏市] ツミ(2) 9:50、雌雄各1羽、雄が雌 飯泉仁
に餌をプレゼント 飯泉仁
- 4.25 [布瀬] サバ(2) 11:21、上空を飛翔 飯泉仁・飯泉久美子
飯泉仁・飯泉久美子
- 4.25 [布瀬] サバ(1) 11:32、上空を飛翔 飯泉仁・飯泉久美子
飯泉仁・飯泉久美子
- 4.25 [布瀬] サバ(1) 12:47、電柱の天辺に止 飯泉仁・飯泉久美子
まっていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.25 [布瀬] サバ(1) 13:00、飛翔し移動 飯泉仁・飯泉久美子
飯泉仁・飯泉久美子
- 4.25 [若白毛] サバ(1) 14:40、飛翔し移動 飯泉仁・飯泉久美子
飯泉仁・飯泉久美子
- 4.25 [鷺野谷] サバ(2) 10:54、上空でディス 飯泉仁・飯泉久美子
プレーフライト 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.25 [鷺野谷新田] ノリ(1) 電線に止まる 船津登
船津登
- 4.26 [上沼] トビ(1) 杭上に止まる 志賀鉄雄
- 4.26 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] コム 桑森亮
ドリ(4) 樹間で移動、採餌 桑森亮
- 4.27 [千間橋] チョウゲンボウ(1) トビに追われ続 鈴木静治
ける 鈴木静治
- 4.27 [千間橋] トビ(1) チョウゲンボウを追い続け、 鈴木静治
放した獲物を空中キャッチ 鈴木静治
- 4.27 [中峠] サバ(1) 雨天の中、竹から地上 松本勝英
へ何度も狩りに励んでいた 松本勝英

- 4.27 [発作] チョウゲンボウ(1) ホリフグ急降下し
獲物を捕獲し、田の畦で食べる 鈴木静治
- 4.28 [中峠] サバ(1) 強風の中、傾いた枯れ杉
の梢から獲物を狙う 松本勝英
- 4.30 [柏市] ツミ(2) 9:25、雄が雌に餌をプレゼン
ト 飯泉仁
- 4.30 [発作] オオシキリ(3) 11:33、葦原にとまり
鳴いていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.01 [大井新田] サバ(1) 電柱頂部に止まる。
初認 志賀鉄雄
- 5.01 [柏] チョウゲンボウ(1) 9:16、商業施設の排
気口から幼鳥が顔を出していた 飯泉仁
- 5.01 [中峠] サバ(1) 鳴き声で周囲を探すと
いつもの枯れ杉で♀を見つけました。眉斑が
白い少し太っちょの個体 松本勝英
- 5.02 [江蔵地] ツツトリ(1) 柳の林で鳴く
鈴木静治
- 5.02 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(4)
船津登
- 5.02 [中峠] サバ(2) 枯れて傾いている竹に
止まった。その直後、2羽が眼前でラン
デブーフライト 松本勝英
- 5.03 [下沼田] チョウゲンボウ(1) 水田の水面近
くを飛ぶ 鈴木静治
- 5.03 [発作] チョウゲンボウ(1) 電柱に止まる
鈴木静治
- 5.04 [上沼] トビ(1) 飛翔 志賀鉄雄
- 5.04 [柏市] ツミ(1) 11:31、巣の中に雌の尾ら
しきものが見えた 飯泉仁
- 5.05 [泉村新田] サバ(1) 電柱に止まる
船津登
- 5.05 [上沼] トビ(1) 大井の森へ 志賀鉄雄
- 5.05 [柏市] ツミ(1) 9:14、雌が抱卵中と思われ
る 飯泉仁
- 5.06 [片山(手賀の丘公園)] 材木(1) 枯木に
止まる 船津登
- 5.07 [大島田] サバ(1) 飛翔 志賀鉄雄
- 5.07 [手賀沼辺] トビ(2) 上沼 2
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 5.08 [柏市] ツミ(1) 8:46、雄が鳴きながら飛来
飯泉仁
- 5.08 [柏市] ツミ(1) 8:47~9:46、枝にとまり巣
の方向を警戒 飯泉仁
- 5.08 [柏市] ツミ(1) 9:54、雄が巣に移動
飯泉仁
- 5.09 [片山(手賀の丘公園)] トビ(1) 上空を飛
ぶ 船津登
- 5.09 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(3) 木の中
で鳴く 船津登
- 5.09 [片山(手賀の丘公園)] キバ(2) 木の枝
に止まり、さえずる 船津登
- 5.09 [戸張新田] ハブサ(1) 鉄塔 95 に止まっ
ていた 吉田隆行
- 5.09 [布瀬] キバ(1) 囀り 志賀鉄雄
- 5.09 [布瀬] キバ(2) 囀り 志賀鉄雄
- 5.09 [布瀬] サコウチョウ(1) よく囀る
志賀鉄雄
- 5.10 [片山新田] トビ(1) 上空を飛び、畦に下
りる 船津登
- 5.12 [片山] キバ(1) 林の中で囀り
志賀鉄雄
- 5.12 [片山] トビ(1) 飛翔 志賀鉄雄
- 5.12 [片山] アハズク(2) 電線に。飛び立つも
すぐに戻る 志賀鉄雄
- 5.12 [布佐平和台] トビ(2) 住宅の上空高く
鳴きながら飛ぶ 鈴木静治
- 5.13 [鷺野谷] アハズク(2) 電線に
志賀鉄雄
- 5.14 [大井新田先手賀沼] トビ(1) 15:05、上空
を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.14 [柏市] ツミ(1) 8:55、雄が鳴きながら飛来
飯泉仁
- 5.14 [柏市] ツミ(1) 9:37、雌が出現 飯泉仁
- 5.14 [藤ヶ谷] キバ(1) 山林で囀り
志賀鉄雄
- 5.14 [発作] ウズラシギ(1) 13:19、水田の畦で休
んでいた 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.15 [北新田] チョウゲンボウ(2) 飛翔
畠中暁美・他 10名
- 5.15 [北新田] ノスリ(1) 水田上飛翔
畠中暁美・他 10名
- 5.15 [柏市] ツミ(1) 8:09、雌が枝に出現し餌ら
しきものを足にぶら下げて巣に帰還
飯泉仁
- 5.15 [柏市] ツミ(2) 8:54、雌雄が餌を受け渡し
飯泉仁
- 5.15 [藤ヶ谷] サバ(1) 電柱に止まる
志賀鉄雄
- 5.15 [若白毛] キバ(1) 林で囀り
志賀鉄雄
- 5.16 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(3)
船津登
- 5.16 [片山(手賀の丘公園)] キバ(2) さえず
る、姿は見えず 船津登

- 5.16 [布瀬] カバ(1) 木のでっぺんに止まる
志賀鉄雄
- 5.16 [布瀬] キバ(2) 嘯り 志賀鉄雄
- 5.16 [布瀬] カノウチョウ(1) オス。稲田上低く飛
んで林へ 志賀鉄雄
- 5.16 [鷺野谷新田] ノリ(1) 電線に止まる
船津登
- 5.19 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] トビ
(1) カスのモビングを受け鳴く 桑森亮
- 5.19 [手賀沼遊歩道(高野山地先)] ヒクイ(1)
葎原の奥から鳴き声 桑森亮
- 5.20 [千間橋] ヨシコイ(1) 川の中州より鳴き
声が聞こえる 鈴木静治
- 5.20 [手賀沼遊歩道(高野山地先)] ヒクイ(1)
葎原の奥から鳴き声 桑森亮
- 5.20 [戸張新田] ハブサ(1) 鉄塔 96 に止まっ
ていた 吉田隆行
- 5.20 [鷺野谷新田] ノリ(1) 電線に止まる
船津登

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アオバズク、アカハラ、
アトリ、アマサギ、アマツバメ、アリスイ、
イソシギ、ウグイス、ウズラシギ、エナガ、
オオジュリン、オオセッカ、オオタカ、オオ
バン、オオヨシキリ、オカヨシガモ、オナガ、
カイツブリ、カシラダカ、カモメ、カルガモ、
カワウ、カワセミ、カワラヒワ、カンムリカ
イツブリ、キアシシギ、キジ、キジバト、キ
セキレイ、キビタキ、キョウジョシギ、クイ
ナ、クサシギ、ゴイサギ、コガモ、コゲラ、
コサギ、コチドリ、コブハクチョウ、コムク
ドリ、サシバ、サンコウチョウ、シジュウカ
ラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、
セグロカモメ、セグロセキレイ、セッカ、ダ
イサギ、タシギ、タヒバリ、チュウサギ、チ
ュウシャクシギ、チュウヒ、チョウゲンボウ、
ツグミ、ツツドリ、ツバメ、ツミ、トビ、ト
ラツグミ、ノスリ、ハクセキレイ、ハシビロ
ガモ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハ

ヤブサ、バン、ヒクイナ、ヒドリガモ、ヒバ
リ、ヒヨドリ、フクロウ、ベニマシコ、ホオ
アカ、ホオジロ、ホシハジロ、マガモ、マヒ
ワ、ミサゴ、ムクドリ、ムナグロ、メジロ、
モズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ヨシガモ、ヨ
シゴイ、ルリビタキ

計 93 種

<番外種>

アイガモ、アヒル、カワラバト、コジュケイ、
バリケン

今回の投稿者の総投稿件数

浅井芝樹・齋藤武馬・(投稿平岡考)	1
飯泉仁	307
飯泉仁・飯泉久美子	190
金子雅幸・船津登・桑森亮	17
桑森亮	98
桑森亮・中根忠	6
桑森亮・中根忠他	4
桑森亮・船津登・金子雅幸	36
志賀鉄雄	50
鈴木静治	258
鈴木静治・船津登・ 池田日出夫・蒲田知子	15
鈴木静治・船津登・ 間野吉幸・池田日出夫	23
田中功	2
中根忠	8
畠中暁美	1
畠中暁美・他 10 名	27
畠中暁美・松田幸保他 7 名	25
船津登	184
松本勝英	15
間野吉幸	77
吉田隆行	46
吉田隆行・鈴木静治	1
総計	1391

(担当：浅井久)

【会員だより】(ab-yacho より)

【中峠、今年もサシバがやって来た】

2016.04.09 松本勝英

3～4日前から、声がするとの情報がありましたが、昨日の朝8時過ぎ対面しました。近くで、懐かしい「キス・ミー」と尻上がりの鳴き声を聞き、カメラ片手に出て見ると、自宅から直線距離で20m弱の電信柱、隣家のテレビアンテナ間を飛んでくれました。昼頃から夕方まで、周囲の雑木林、畑で再会の挨拶代わりに鳴き続けてくれました。今朝は、ちょっと遅く10時ごろ昨日と反対側の電柱頂き、竹林トップに止まっています。昼前、窓から見ていると、なんと2羽に増えています。昨年と同じペア一か分りませんが、再び営巣してくれるか期待し見守りたいです。

【3/20以降、気付いたこと】

2016.04.20 桑森亮

- ・早朝に歩くことが多いのですが、相変わらず水際でクイナを良く見られますが、4月半ばからは水位が高くなって姿が見えなくなり声だけになってきました。
- ・ヒクイナの声も聞こえることがあります。
- ・コブハクチョウの抱卵が始まりました。
- ・モズの幼鳥と親鳥が一緒に姿を見かけます。子育て中なのでしょう。
- ・ヒドリガモは見なくなりましたが、コガモはまだ残っています。
- ・オオジュリンもまだ少し居残り組がいるようです。
- ・アオジもまだ残っており、ぐぜりや囀りが聞こえます。
- ・セッカの囀りが良く聞こえ、姿も見せるようになりました。
- ・3月からセグロカモメが多くなりましたが、4月半ばにはぐっと少なくなりました。ユリカモメも同様に少なくなりました。

【4月の北新田、鳥情報】

2016.04.20 畠中暁美

当日(4/15)は風がとても強く、鳥の数は少なかったのですがムナグロの群れ80羽位が見られました。ふたつの群れ(15羽位)が飛び立ち、もういないかと思いましたが、田んぼにはまだ沢山残っていました。分かりにくいですが・・・
多分まだ渡ってきたばかりだったのかな?などと想像しています。
チュウサギは見られませんでした。
ツバメは金谷堰土手付近には、たくさん飛び回っていました。

【オオヨシキリの囀り】

2016.04.24 鈴木静治

4/24午後手賀沼、手賀川のコブハクチョウの営巣を調べるため、自転車で回ってみました。現在手賀川に6カ所、下沼に3カ所、上沼に2カ所の合計11カ所に営巣していることが判りました。

森林からはウグイス、メジロの囀りが聞こえ、田、河原からはヒバリ、キジ、セッカの囀りが聞こえてきました。

ところが、高野山新田の沼岸(旧花菖蒲の公園近く)まで来ると、葦原よりオオヨシキリの囀りが聞こえました。ここだけかなと思っていましたところ、上沼田の葦原(我孫子高校グラウンド近く)でも、更に水道橋、千間橋、発作の葦原でも聞こえました。発作のみ葦の茎の中ぐらいの高さに止まるのが見えました。他はすべて葦の下部の茂みで囀り姿を見せませんでした。

昨年は4/19に布瀬新田、発作で初鳴きを聞きました。広い葦原ではこれからオオヨシキリの賑やかな(やかましい)囀りが聞こえると思いますので一度聞きに行ってみてください。

【オオヨシキリの囀り】

2016.04.24 中西榮子

オオヨシキリの囀りですが、4/19 鳥博近くの手賀沼遊歩道で聞きました。残念ながら、姿を見ることは出来ませんでした。

前日の4/18 稲敷で、今季、初めてオオヨシキリの囀りを聞き、姿も見ております。

【下沼田にムナグロ現れました】

2016.04.27 鈴木静治

手賀川ではコブハクチョウの6巢のうち、2巢で雛が孵り親鳥が可愛い雛を連れた情景が見られるようになりました。どちらも雛は8羽と多いようです。場所は発作（終末処理場近く）と浅間橋近くです。これから何羽大きくなれるか見ていきたいと思っています。

下沼田、相島、発作の田は水を入れ始めたところで、一部早い所は田植えも終わっています。全体には田植えはこれからといったところです。それでもタシギが飛び、下沼田の水の入りかけた田にムナグロが7羽降りました。夏羽3羽、夏冬中間羽2羽、幼鳥2羽でした。

連休中には多くのムナグロ、キョウジョシギ、チュウシャクシギ等が来るのではないのでしょうか。楽しみです。

【雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ、中峠のサシバ】

2016.04.29 松本勝英

昨日は、終日雨や強い霧雨の一日でした。

夕方薄暮の中、雨の重さでこうべを垂れた竹から地上へ何度も狩りに励んでいました。

一転、今日の強風の中、傾いた枯れ杉の梢から獲物を狙うサシバに会いました。

いずれも、腹羽模様と大きさからいつもの個体の♂とみられます。

雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケナイ野生に頼もしさを感じました。

と同時に、「男は辛いヨ」・・・でもありました。

【ツーショットできました、中峠のサシバ】

2016.05.02 松本勝英

昨朝7時過ぎ、鳴き声で周囲を探すといつもの枯れ杉で♀を見つけました。

眉毛(?)が白い少し太っちょの個体でした。終日あちこちで姿を見せてくれました。

♂は確認できませんでした。

今日も午前中は、♀だけでしたが、夕方4時過ぎ、枯れて傾いている竹に止まったので、撮りましたら、なんとその画像は、「ツーショット」になっていました。

その直後、2羽が眼前でランデブーフライトまでしてくれました。

いよいよ、今年も営巣、産卵、育雛、巣立ちのドラマが期待できそうです。

【4/20以降、気付いたこと】

2016.05.20 桑森亮

- ・私の歩きルートは滝下広場から曙橋ですが、昨年はこの間でコブハクチョウの雛が3か所で見られましたが、今年は見られません。ビオトープの葎原では未だ抱卵しているようですが、無事孵化するのでしょうか？
- ・オオヨシキリの囀りが聞こえる場所が少ないように思います。
- ・GW明けから10日間旅行等で出かけており、帰ってくるとオオジュリンとアオジの声は聞かれませんでした。オオジュリンは5/1が私の終認となりました。
- ・19,20日とここ2日間の早朝、滝下広場の葎原奥からヒクイナの声が聞こえました。とても観察はできませんが、特徴のある声だけは良く聞けます。

【カッコウなどトケン類の渡来情報、季節感を感じます】

2016.05.25 田中功

今日(24日)、茨城県かすみがうら市(旧千代田町?村?)の雪入山で、ホトトギスの、

あの特徴のある鳴き声を、ごく近く～遠く、何回か聞くことができました。近くで聞くと、やはり、迫力があって、エネルギーで、暫らく、聴き惚れてしまいます。

・・・啼いて血を吐く?・・・あまりの響き渡る大声に、遠慮する、という感覚が、この鳥にはないのかしら・・・など、思いながら、山道で立ち止ってしまいました。

“飢して 山ホトトギス 恣しいまま” (久女)

テストステロンのなせる技～?で済ませて良いものなののでしょうか?

【コブハクチョウのヒナ】

2016.05.25 桑森亮

4日ぶりに手賀沼遊歩道を歩いたところ、ビオトープの池でコブハクチョウの親子を観察しました。雛4羽でここ3日の間にビオトープの葎中で抱卵していたものが孵化したようです。

今日は、滝下広場先の水田でも雛5羽を連れた家族を観察しました。

そのうち、遊歩道を我が物顔で占拠し、歩行者を威嚇することでしょう。

【布佐周辺にも初夏の夏鳥が来ました】

2016.05.27 鈴木静治

布佐周辺にも初夏の鳥：5/2 ツツドリ囀り、5/24 コヨシキリ囀り、5/26 ホトトギス囀り、カッコウ囀り(以上 利根川河川敷)、5/24 キビタキ囀り(布瀬)、5/20・5/25 ヨシゴイ鳴き声、5/27 ヨシゴイ川岸より中州に飛ぶ、他にもコチドリが見られるようになり森の緑、田植え後の水田風景と共に、初夏が来た感じがします。もちろんオオヨシキリ、ヒバリ、ウグイス、セッカ、キジ等の囀りはうるさく感じるほどです。

【中峠上空、ホトトギス初通過ほか】

2016.05.28 松本勝英

今朝7時20分、我が家の上空をホトトギスが初通過しました。声だけで姿は確認出来ませんでした。今季初認です。10時過ぎには、3～4回まとまって聞けました。

おまけに、水路でカワセミ、頭上で旋回のサシバ、眼前にホオジロ、常連のシジュウカラ、ウグイスとコゲラ、などなど午前の部です。

夕方には、5時半ごろですが、樹頂で単独で鳴くメジロ、樹間からアカゲラが負けじとドラミングを堪能できました。

【カッコウの声】

2016.06.01 村井みとい

本日5:40頃、湖北台にて手賀沼方向からカッコウのさえずりが聞こえました。

声は東から西方向に移動していました。

数日前からホトトギスは耳にしていたのですが、カッコウの声をここで聞いたのは初めてでしたので、うれしくなってメールさせて頂きました。

【手賀沼のコアジサシ】

2016.06.01 鈴木静治

6/1 手賀川・手賀沼のコブハクチョウの幼鳥を調べるため手賀沼ビオトープ付近を通ったところ、11羽のコアジサシが手賀沼を飛び回っていました。ビオトープ付近では2006～2011年の5～8月頃よく見られたのですが、最近は見られず久々にコアジサシの飛翔、餌獲りの急降下する光景に見とれました。

【ホトトギスの声】

2016.06.02 横尾佳代子

先ほど夜中の12時半頃にホトトギスの声が聞こえました。

こんな夜中にも鳥って鳴くのでしょうか?

野鳥観察初心者ですし、声を聞くのも初めてなのでとてもビックリしました。

【ヒクイナ情報】

2016.06.04 桑森亮

先月 20 日に送信した鳥便り（観察記録）で滝下広場の葦原でヒクイナの声が聞こえる
と報告しました。その後、1 週間前の 5 月 28 日（土）に手賀沼側葦原の反対側疎林の葦
中から鳴き声を聞き、その日の夕方には手賀沼葦原から遊歩道を飛び越え、田圃脇の葦
中に入る姿を観察しました。今週月曜日頃からは、手賀沼葦原と田圃、疎林葦叢を飛ん
だり歩いたりして移動し、田圃で採餌し、田圃から畦上を歩いて移動する姿も観察でき
るようになっていきます。

良く見聞きできる時間帯は、朝 7 時前後、夕方 5 時前後で、プラスマイナス 30 分位の
幅があり、畦を歩くなど観察し易い時間はそんなに長くなく、田圃で採餌した後が多い
ようです。

会からのお知らせ**<新入会員紹介>**

肥後 邦彦	（我孫子市在住）	再入会
小林千恵子	（ 同 ）	
内田佳穂子	（柏市在住）	
梶原 裕美	（我孫子市在住）	

<編集担当変更>

長らく編集担当にご尽力頂きました猪爪敏夫氏は、
退任され、新任として、青木典子、千葉洋が 5 月役員
会議にて選任されました。

ほーほーどり No. 251 （2016 年 7～8 月号）

発行 2016 年 7 月 1 日

発行人 間野吉幸

編集人 青木典子、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、千葉洋、野口紀子、松本勝英、
宮下三禮

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台 2-15-17 桑森亮 Tel : 04 - 7182 - 3149

U R L <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会 費 年会費 2,000 円（大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料）